

# むさしのライフ

## A to Z

知っているようで、あまり知られていない市内のあれこれについて、中学生記者が現場を取材、調査していきます。

### Q

今では身近な携帯電話。そもそも日本の電話にはどんな歴史がありますか？



かなもりはるか  
**金森晴香**さん  
中町在住の中学3年生。  
欧米生活を経験した帰国子女。  
将来はバイオリニストに!



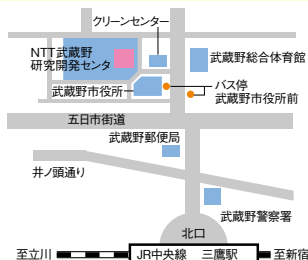
おおねかりん  
**大根果林**さん  
吉祥寺北町在住の中学3年生。  
テニスや水泳が得意。  
生徒会の役員も務めた

今回取材したのは

## 「NTT 技術史料館」

(武蔵野市緑町3-9-1 NTT 武蔵野研究開発センター内)

江戸時代、黒船で来航したペリーが幕府に電信機を献上したことに始まる日本の電信電話の歴史。明治2(1869)年から電報事業が始まり、その後どのように日本の通信技術が発展してきたのかを、目で見てたどることができる技術史料館。それぞれの時代に生み出された数々の技術を貴重な史料とともに学ぶことができます。日本で初めて作られた電話機をはじめ、映画「となりのトトロ」にも登場した壁掛け式の電話機などを実際に見たり、触れたりすることも魅力。また、音声だけでなく、文字や画像・動画を送受信することができる技術はいつどのように生まれたのか、急速に発展をとげる情報通信技術の広がりも知ることができます。



完全予約制・入場無料  
予約受付☎: 0422-59-3311  
(平日午前10時~午後5時)  
一般公開日: 毎週木曜午後  
団体利用: 一般公開日にかかわらず  
希望日時でも対応可  
URL: <http://www.hct.ecl.ntt.co.jp/>



### まずは歴史から

大きな絵図を見ながら  
情報通信の歴史を学  
ぶことができるフロア

最初の電報サービスに  
用いられた「ブレイグ  
指字電信機」



NTT技術史料館で  
通信技術の  
面白さを知って  
ください

今回話を聞いたのは

のむらともよし  
**野村知義**さん

NTT情報流通基盤総合研究所



# 施設見学



1

思ったより  
よく聞こえる!



明治中期から昭和40年頃まで使われたデルビル磁石式壁掛電話機を体験。

2

昭和29年から10年ほど使われた丹頂形公衆電話ボックス。色合いが丹頂鶴に似ているため「丹頂ボックス」と呼ばれ親しまれました。



3

昭和30年から20年ほど使われた赤色の公衆電話。ダイヤル式の電話を使ってみるのは、2人とも今回が初めて。



4

海底に埋められている通信ケーブル同士をつなぐ中継器の実物。レアものです。



6

電話ができた当初は手で対応していた交換機も、今はコンピュータで高速処理。



5

増大するデータ量に対応するためNTTが開発した光ファイバーの製造技術も展示。



7

交換機の裏側は線がびっしりで複雑!



現在は、衛星を利用して災害時などどんな時でも通信が利用できるように技術開発を進めている。

A

今とはまるで違う型式のものから技術の結晶で生まれたものなど、電話は時代により変わってきました。NTT技術史料館では、日本における通信技術がどのように発展してきたのか、その技術開発の流れを体感しながら楽しく学ぶことができます。

## 中学生記者募集!!

あなたも『むさしのライフ A to Z』の中学生記者に挑戦してみませんか。武蔵野市内にまつわる素朴な疑問や知りたいことなどを折り込みハガキに記入して、どんどん応募してください。友達と一緒にの参加も歓迎です。

## 取材を終えて



金森さん

災害や高齢化社会に向けた研究開発など、通信技術が私たちの生活にどう生かされているか、ということがよく分かりました。



大根さん

人間の開発かってすごいって感動しました。電話の歴史や仕組みについてもわかりやすく勉強になりました。